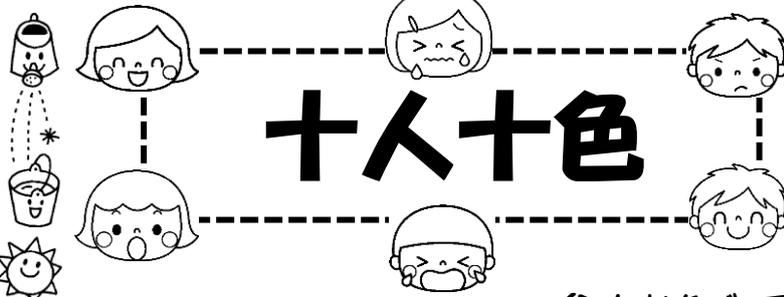


7月



十人十色

2020, 6, 30

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO8

(みんなちがってみんないっしょ!)

「おじいちゃん! かつこいい!」

縄瀬保育園にヤギの「森田さん」が来て、3週間になります。ヤギ小屋がほしくて保護者のお父さん、おじいちゃんにお願いをしました。設計、材料の買い出し、切込み、土台作りは、経験豊富な、子どものおじいちゃんたちが協力して下さっています。お二人とも「可愛い孫がお世話になっちゃっかいよ!・・・」と言いながら頑張ってお下さっています。

先日、ヤギ小屋の土台を作りに来てくださいました。暑い日で、汗をたらたら流しながら「ああでもない! こうでもない!」とあつという間に骨組みができていきます。それを見ていた、Kさんのお孫さんのRちゃん。目をキラキラさせて「Rちゃんのおじいちゃんだよ!」とお友達にしきりに話しています。そして、「おじいちゃん、かつこいい!」と叫んでいました。Rちゃんは3歳児。この言葉が素直に出てくるってすごい! と思いました。きっと、みんなのために、ヤギ小屋を建てる姿、てきぱきと動く姿に本当に感動したんだと思います。

子ども達は、お父さん、おじいちゃんの働く姿を生で見る機会は少ないと思います。農業に携わっていると、時には、機械にのって働く姿を見ることもあるでしょうが、会社員となると、自分の父親の働く姿は想像できないと思います。(母親は、ご飯の支度、掃除、子どもの世話などをすることで働いてくれる!とイメージしやすいのですが...)

保育園で「お父さんの仕事は何!」と聞くと「しらない!」と答える子は結構多いものです。お父さんがどんな仕事をしているのか? 子どもに話してみませんか? 「お父さん! すごい!」お父さん、かつこいい!」と子どもに言わせてみませんか? 仕事でなくても、キャッチボール、サッカー、ものづくり、料理・・・何でもいっしょに思います。ご自分が得意なことを子どもと一緒にやってみてもいいと思います。「僕のおとうさん、こんなことができるんだよ!」と自慢のお父さんを目指してみませんか?

ヤギ小屋製作が7月4日(土)に行われます。最初は「親父の会」と命名していましたが「親父・爺の会」と名前を変更したいと思います。

* 「主体的な保育?」って

私たちは日頃から「子どもが主体の保育」を目指して日々保育をしています。でも「主体的ってなに?」と思われることも多いと思います。主体的って

*自分でやりたいことを決め、失敗しても自分で克服すること。子どもの主体性とは人から強制されて仕方なしにやる、というのとは違います。自分でやりたいことを見つけて、具体的にどうするかを自分で決め、失敗しても自分で克服していく、そういう行為全体を主体的であると考えています。この保育では

- 1、人は社会的動物だから、必ず遊びのルールや約束事があることを子ども達に知らせています。
- 2、子どもが遊べる選択肢が豊かにあることが前提条件です。・・・なので動物、水、土、火、遊具などコーナーをたくさん作り、いろんな経験ができるように保育環境を作ります。
- 3、主体的な活動を積み重ねると、結果的にはけがは減ります。・・・これは日々の保育で保育士が実感しています。手の豆も「頑張った証拠!」と見せに来てくれます。
- 4、やりたいことをやる方が、その子の真のスキルになります。・・・子どもが興味を持って取り組んだ遊びは、保育士の想像を超えることが多くなっています。例えば運動面、からから積み木、かないません・・・
- 5、自分の欲求が満たされると、わがままを言わなくなります。・・・その通り!